

三番町ごきげんクリニック 澤登雅一院長 が世界的権威と共に講演
「ビタミンC大量点滴療法は“新しいがん薬物療法”のひとつ」
～「国際点滴療法会議 設立記念国際シンポジウム」で登壇～

「がんの最新療法」をご提供する三番町ごきげんクリニック（東京都千代田区）の院長、澤登雅一は、10月17日（日）、点滴療法研究会主催による、国際点滴療法会議 設立記念国際シンポジウムで「難治性悪性腫瘍に対するビタミンC大量点滴療法の役割」と題する講演を行いました。

「ビタミンC大量点滴療法」の世界的権威が集合

本シンポジウムは、「国際点滴療法会議」の設立を記念して開催されたもの。「高濃度ビタミンC点滴療法によるがん治療」をテーマに、米国でもっともビタミンC大量点滴療法の経験を持つリオルダン・クリニック所長のロナルド・ハニハイキ博士、ビタミンC研究で著明な英国スタッフオードシャー大学のスティーブ・ヒッキー博士、カナダのマギル大学で臨床研究を進めるジョン・ホフファー博士、血液悪性腫瘍に対するビタミンC療法の研究を行っている東海大学血液腫瘍内科の川田浩志准教授など、この分野のエキスパートが国内外から集まり、講演しました。

「ビタミンC大量点滴療法」は新しいがん薬物療法

澤登は、自身が非常勤講師を勤める東海大学血液腫瘍内科が進める基礎的、臨床的研究にも触れながら、がん治療における「ビタミンC大量点滴療法」の効果、科学的根拠、リスクについて説明。その上で、「今後、より多くの症例やエビデンスを必要とするものの、抗腫瘍効果を示す明確なメカニズムが少なくとも1つは存在し、重篤な副作用もないため、本治療は代替療法ではなく、“新しいがん薬物療法”として考えていくべきである」と述べました。

三番町ごきげんクリニックでの「ビタミンC大量点滴療法」症例

さらに、当院での症例をご紹介します。

- ① 抗がん剤単独では治療効果が不十分であったが、ビタミンC大量点滴療法を併用することで、腫瘍の消失が認められた非小細胞性肺ガン症例
- ② 有効な標準治療がなく、ビタミンC大量点滴療法単独で腫瘍の縮小を認めた、リンパ節転移・肺転移を伴う類上皮肉腫症例ビタミンC大量療法点滴療法
- ③ 寛解期（完全な治癒ではないが一時的に症状が消失してみえる安定した時期のこと）にビタミンC大量点滴療法の併用により寛解期間の延長が認められた急性骨髄性白血病再々発症例

「ビタミンC大量点滴療法」の今後

講演最後、澤登は「ビタミンC大量点滴療法」の今後の課題として、同治療法が有効である症例をより明確にするために、治療効果が予測できるような指標を見つける必要があること、がんの個別化治療が進むなか、他の分子標的治療との組み合わせで、より高い治療効果を目指すことの必要性を説いて講演を締めくくりました。150名を超える医療関係者からは、本治療に期待する声が多数寄せられています。

■ がんの「個別化治療」を進める三番町ごきげんクリニック

2005年の設立以来、がん専門医である澤登雅一院長のもと、肺がん、胃がん、大腸がん、前立腺がん、乳がん、悪性リンパ腫など、さまざまながんの患者さまにむけてがん治療を行っている。「ビタミンC大量点滴療法」のほか、分子標的治療薬で副作用がほとんど出ない「フェニルブチレート療法」、米国で脳幹部腫瘍に対する第三相臨床試験が進んでいる「アンチネオプラストン療法」を中心に数々の成果を出している。また、東海大学と共同で基礎的・臨床的研究も進めている。

【澤登雅一 プロフィール】

1992年、東京慈恵会医科大学卒業後、血液内科医として日本赤十字社医療センターで白血病や悪性リンパ腫などの血液ガンの臨床に従事。2005年より三番町ごきげんクリニック院長。病気を診る立場から、病気にならないことの重要性を痛感し、アンチエイジング医療を実践するとともに、ライフワークとしてがんの治療に力を注いでいる。医学博士。東海大血液腫瘍内科非常勤講師。日本抗加齢医学会専門医、米国先端医療学会（ACAM）キレーション治療認定医、日本内科学会認定専門医、日本血液学会専門医。著書に、『人より20歳若く見えて、20年長く生きる！』『ビタミンCはがんに効く』（ディスカヴァー携書）。



【三番町ごきげんクリニック】

- 設立年：2005年
- 事業内容：アンチエイジング医学の治療及びコンサルティング/がんの個別化治療
- 院長：澤登雅一
- 所在地：東京都千代田区三番町 8-1 三番町東急アパートメント 1101
- TEL：03-3237-0072
- URL：<http://www.cancerclinic.jp/>

＜お問い合わせ＞

三番町ごきげんクリニック 広報担当：大谷恵

TEL: 03-3237-0072 FAX: 03-3237-0039 E-Mail: info@kenko.org